

まめってえ通信

鬼無里 薪ステーション 製材所建設中!!

平成26年度の補助金事業で簡易製材機を購入しましたが、製材作業スペースが無いため十分に活用できていませんでした。そこで、いよいよ製材所を鬼無里薪ステーション敷地に建設することに。

米山幸雄理事の
ごだわりで、柱と梁は丸太を使用しました。間伐材を製材して机やベンチを作ったり、鬼無里の木をもっと活用したいと思っています。冬までには完成の予定です。



第3回案山子コンテストが開催されました

お盆明けの鬼無里の田園風景の中に、個性豊かな手作りの案山子が並びました。案山子は田んぼの守り神。今年は雨が少なかったため、いつもより稲刈り時期が早まりそうです。
美味しいお米の収穫が楽しみです。



創価大学ゼミ合宿 in 鬼無里

東京から創価大学の学生9名が鬼無里に合宿に来てくれました。平成25年に環境省事業で「鬼無里における薪の必要性」を調査するメンバーとして、経営学部の野村佐智代先生のゼミ生が鬼無里に来てくれたことがきっかけで、毎年夏の合宿が行われています。

宿泊は、築約200年の味わいある古民家、大日方聡夫理事の自宅。学生たちだけで夕飯を自炊してワイワイと盛り上がりつつあります。

過疎化が進む中山間地の活性化について経営学部の学生の視点で、チームに分かれて研究に取り組んでいます。この日はえごま畑の草取りをお手伝いいただきました。



第46号

2016年9月12日

発行
NPO法人
まめってえ鬼無里
住所 長野市鬼無里
1657
電話 050-3736-6218
FAX 026-256-2101
毎月1回ぐらい発行
まめってえ鬼無里



法政大学フィールドワーク

法政大学法学部からは、名和田教授のゼミ生13名が地域づくりをテーマに視察にきました。子育て支援、後継者問題、空き家活用などまめってえ鬼無里の活動に重なる課題について説明、質疑が行われました。



都市部とは異なる中山間地ならではの現状は、学術書では学べません。学生の皆さんはとまどいを感じながらも、関心を持って下さったようです。

お昼は郷土食のおやきをみんなで作っていただきました。

まめってえ鬼無里前理事長の大日方袈裟治さんが8月3日に70歳にて永眠されました。常にまっすぐな想いで「まめってえ鬼無里」の活動に取り組んでおりましたが、理事長に就任して間もなく病気が見つかり2年間の闘病生活では、復帰を信じてがんばっておりました。ここに生前のご厚誼を感謝いたしますとともに謹んでお知らせ申し上げます。

秋の森から「もりが〜る」

女性を対象とした林業体験イベント「もりが〜る」。

9月3日に5回目を開催し7名が参加しました。連続して参加しているが〜るの皆さんはチェーンソーの扱いがサマになってきましたヨ。次回は11月5日(土)です。



鬼無里のスローフード

鬼無里に古くから伝わる食文化のひとつ「干し野菜」。夏にたくさん採れた野菜たちを太陽に当ててカラカラに乾燥させ、保存食にします。干すことで野菜の甘みやうまみがぎゅつと凝縮。さらに太陽の力でビタミンDが増え、繊維やカルシウムなどを吸収しやすくなるそう。健康にもよいと注目されています。定番は野沢菜、大根ですが、最近では玉ねぎ、トマト、なす、いんげん、オクラ、かぼちゃなど、何でも。干した野菜は炒めたり、水で戻して煮物などでいただきます。昔ながらの知恵が、再び見直されています。



☺ Facebookをページ開設しています。@kinasamamettee ページへの「いいね」をお願いします。